

# 米国経済・金融概況 (2021年2月)

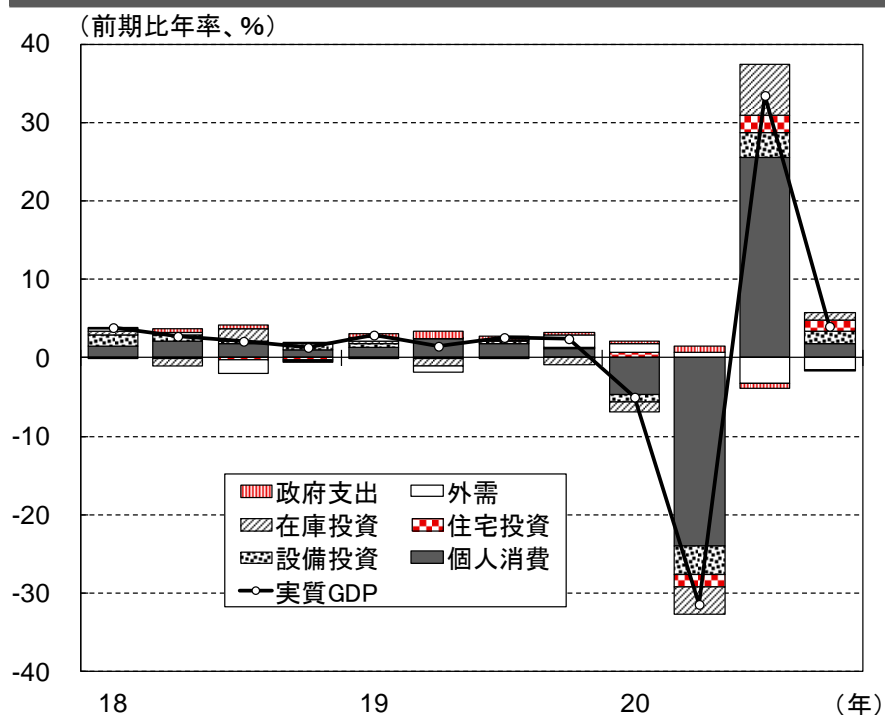
2021年2月17日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

# 1. GDP

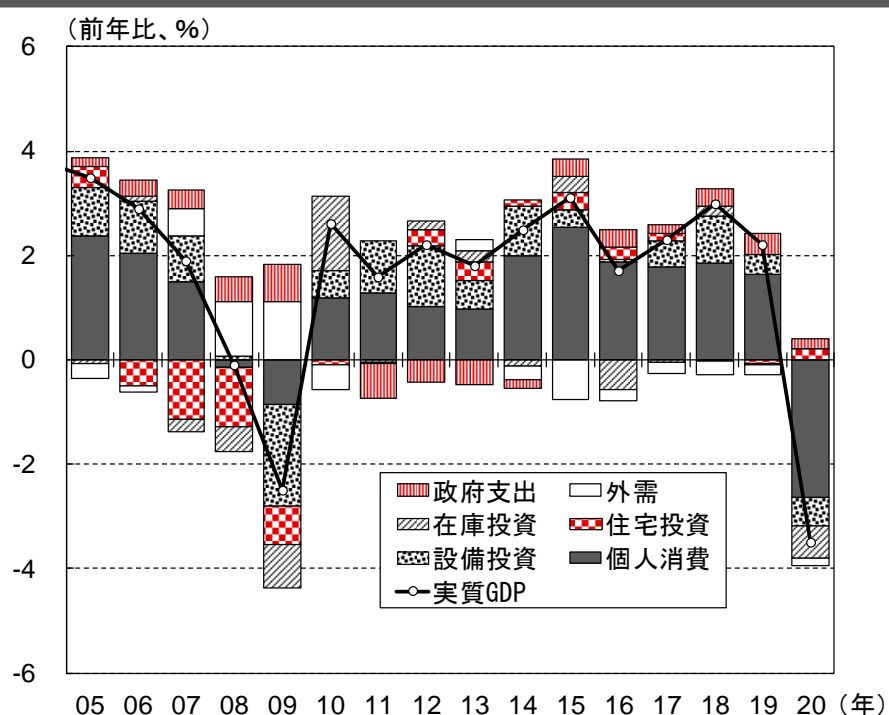
- 昨年10-12月期の実質GDP成長率は前期比年率+4.0%と2四半期連続で増加したが、増加ペースは前期から大幅に減速。
- 需要項目別にみると、昨年7-9月期に比べて政府支出(前期比年率▲1.2%)や、外需(純輸出)の実質GDP成長率に対する寄与度(同▲1.52%ポイント)は、マイナス幅が縮小。
- 一方、GDPの7割を占める個人消費(前期比年率+2.5%)と住宅投資(同+33.5%)、設備投資(同+13.8%)は昨年7-9月期に比べて増加ペースが鈍化したほか、在庫投資の実質GDP成長率に対する寄与度(同+1.04%)はプラス幅が縮小した。
- また、2020年通年では実質GDP成長率は前年比▲3.5%と、2009年以来のマイナス成長となった。需要項目別にみると、住宅投資(同+5.9%)と政府支出(同+1.1%)が増加した一方、個人消費(同▲3.9%)と設備投資(同▲4.0%)は減少し、在庫投資(同▲0.63%ポイント)と純輸出(同▲0.13%ポイント)の寄与度はマイナスに。

実質GDP成長率の推移(四半期)



(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

実質GDP成長率の推移(年間)

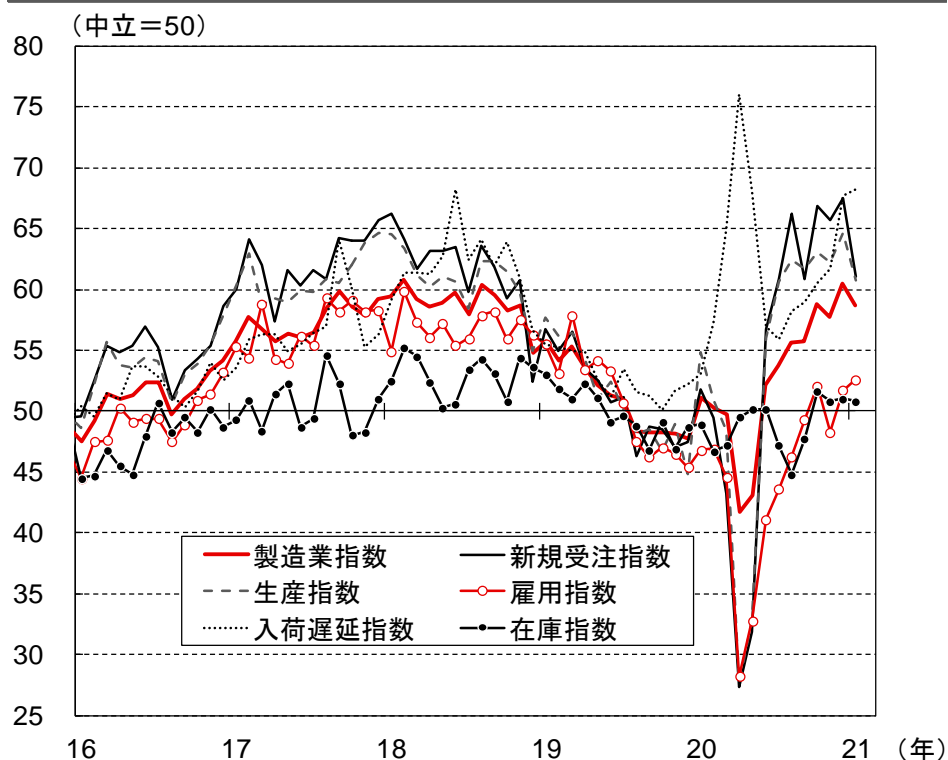


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 2. 企業活動

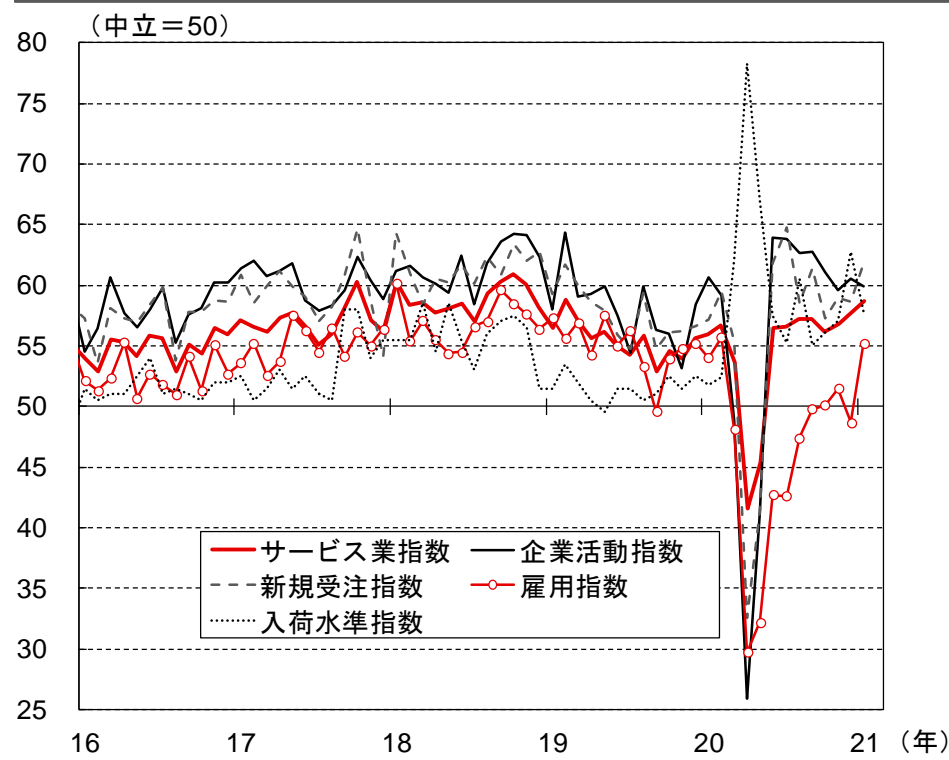
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数は、1月に58.7と拡大と縮小の境目である50を8カ月連続で上回ったものの、前月比では▲1.8低下。指数の構成項目をみると、雇用指数は52.6(同+0.9)、入荷遅延指数は68.2(同+0.5)と前月比で上昇した一方、新規受注指数は61.1(同▲6.4)、生産指数は60.7(同▲4.0)、在庫指数は50.8(同▲0.2)と低下。産業別にみると、昨年12月同様、18産業のうち16産業が前月から活動の拡大を報告、2産業が縮小を報告。
- ISMサービス業指数は、1月に58.7と前月比+1.0上昇し2019年2月以来の高水準。指数の構成項目をみると、企業活動指数は59.9(同▲0.6)、入荷水準指数は57.8(同▲5.0)と低下した一方、新規受注指数は61.8(同+3.2)、雇用指数は55.2(同+6.5)と上昇。雇用指数が大きく上昇しているが、雇用に関する回答企業のコメントとして、「取得した案件を今年実行するため新規採用が必要となった」、「重要分野で人員を増強している」などがリリースに掲載されている。産業別にみると、昨年12月同様、18産業のうち14産業が前月から活動の拡大を報告し、4産業が縮小を報告。

ISM製造業指数の推移



(資料)全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移

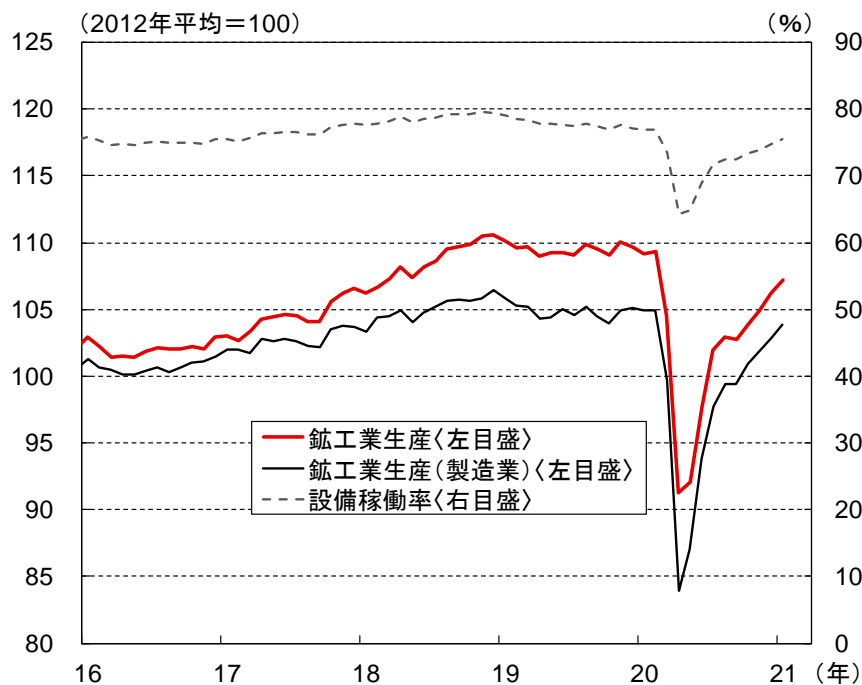


(資料)全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 3. 生産

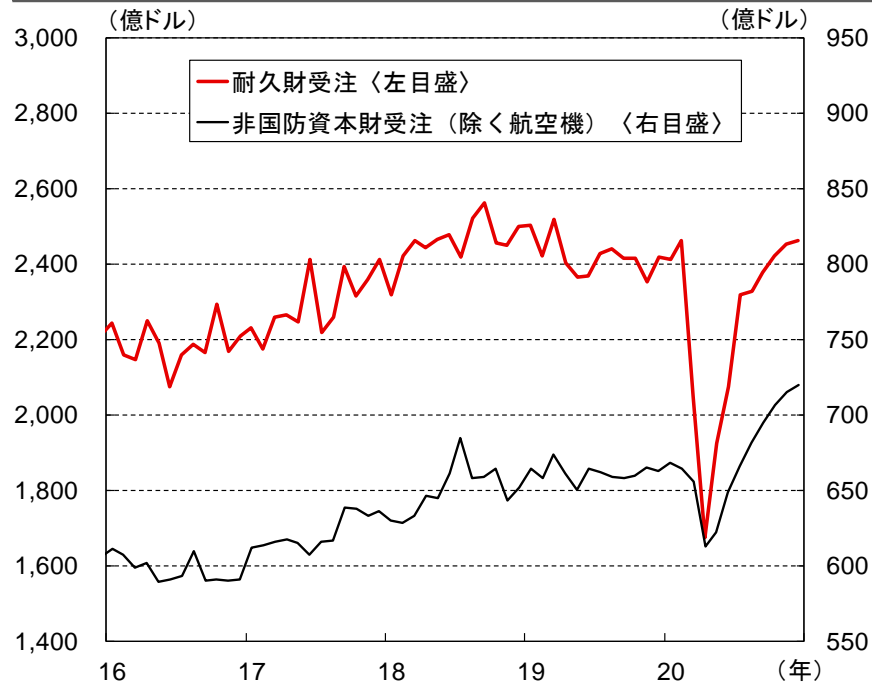
- 1月の鉱工業生産は前月比+0.9%と4ヵ月連続で増加(昨年12月:同+1.3%)。内訳をみると、「公共事業」は同▲1.2%と減少した一方、「製造業」は同+1.0%、「鉱業」は同+2.3%と夫々増加。「鉱業」の増加には、「油井・ガス井採掘」(同+11.3%)などが寄与。1月の鉱工業生産はパンデミック前の昨年2月に比べると依然として▲1.9%減少した水準。1月の設備稼働率は75.6%と前月から+0.7%ポイント上昇。
- 昨年12月の耐久財受注は前月比+0.5%と、8ヵ月連続で増加(同11月:同+1.3%)。内訳をみると、「輸送用機器」と「家具」は減少に転じ、「一次金属」と「電機・家電」は増加ペースが減速した一方、「機械」は増加ペースが加速、「加工金属」と「コンピュータ・電子機器」は減少から増加に転じた。設備投資の先行指標とされる非国防資本財受注(除く航空機)は同12月に同+0.7%と、耐久財受注と同じく8ヵ月連続で増加(同11月:同+1.2%)。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

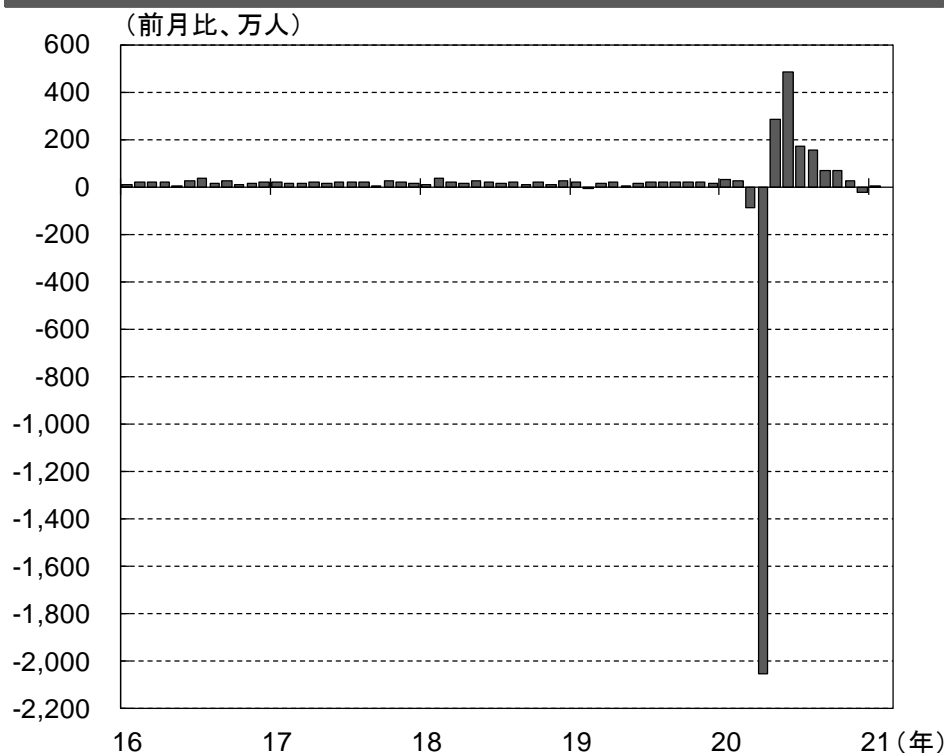


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 4. 雇用

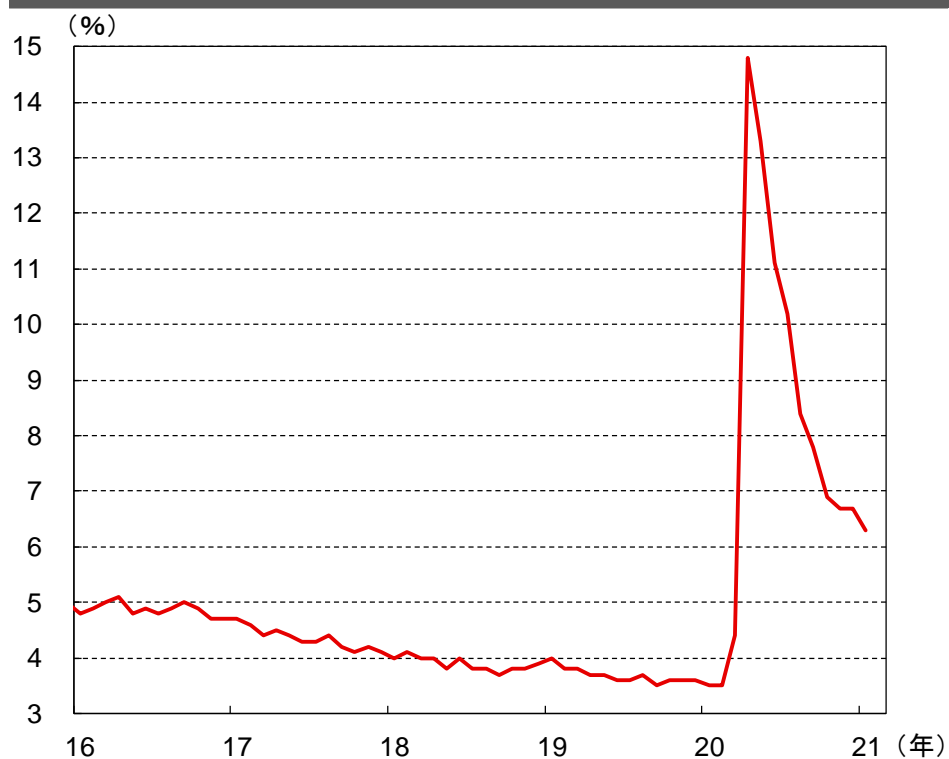
- 1月の非農業部門雇用者数は前月比+4.9万人と小幅ながら2ヵ月ぶりに増加(昨年12月:同▲22.7万人)。
- 業種別にみると、「レジャー・飲食」(前月比▲6.1万人)、「小売業」(同▲3.8万人)、「輸送・倉庫」(同▲2.8万人)などが減少した一方、「専門・ビジネスサービス」(同+9.7万人)、「政府」(同+4.3万人)、「卸売業」(同+1.4万人)などが増加。
- 1月の失業率は6.3%(昨年12月:6.7%)、労働参加率は61.4%(同12月:61.5%)と夫々低下。1月の時間当たり平均賃金(民間部門)は、前月比では+0.2%(同12月:同+1.0%)、前年比では+5.4%上昇(同12月:同+5.4%)。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率の推移

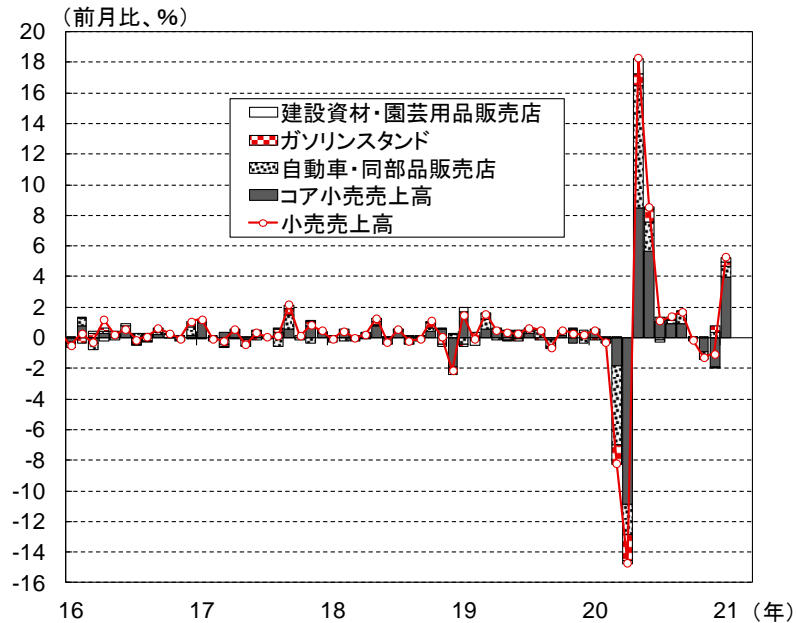


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 5. 個人消費

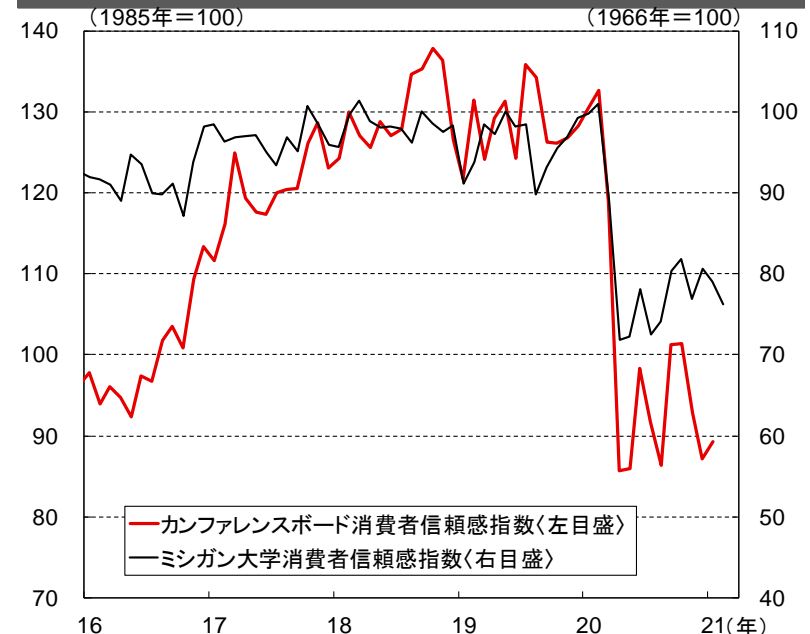
- 1月の小売売上高は前月比+5.3%と4ヵ月ぶりに増加(昨年12月:同▲1.0%)。内訳をみると、全ての業種で増加しており増加率が大きかった業種は、「電子機器・家電販売店」(同+14.7%)、「家具販売店」(同+12.0%)、「無店舗小売業」(同+11.0%)など。
- 1月の小売売上高はパンデミック前の昨年2月比で+7.6%増加した水準。但し、業種間の差は大きく、「飲食店」(同▲16.4%)、「衣服販売店」(同▲9.6%)、「ガソリンスタンド」(同▲5.0%)などは依然として減少した水準。
- 1月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は89.3となり前月比+2.2上昇。現況指数は84.4(同▲2.8)と低下した一方、期待指数は92.5(同+5.5)と上昇。期待指数は「景気」、「雇用」、「家計所得」夫々の6ヵ月先の見通しで構成されているが、「家計所得」の見通しは若干悪化した一方、「景気」と「雇用」の見通しが改善。
- 2月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は76.2となり前月比▲2.8低下。内訳をみると、現況指数は86.2(同▲0.5)、期待指数は69.8(同▲4.2)となり夫々低下。調査責任者のカーティン氏は、「米国経済の先行きに関する見方が1月に比べて悪化した」等とコメント。

小売売上高の推移



(資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

消費者信頼感指数の推移

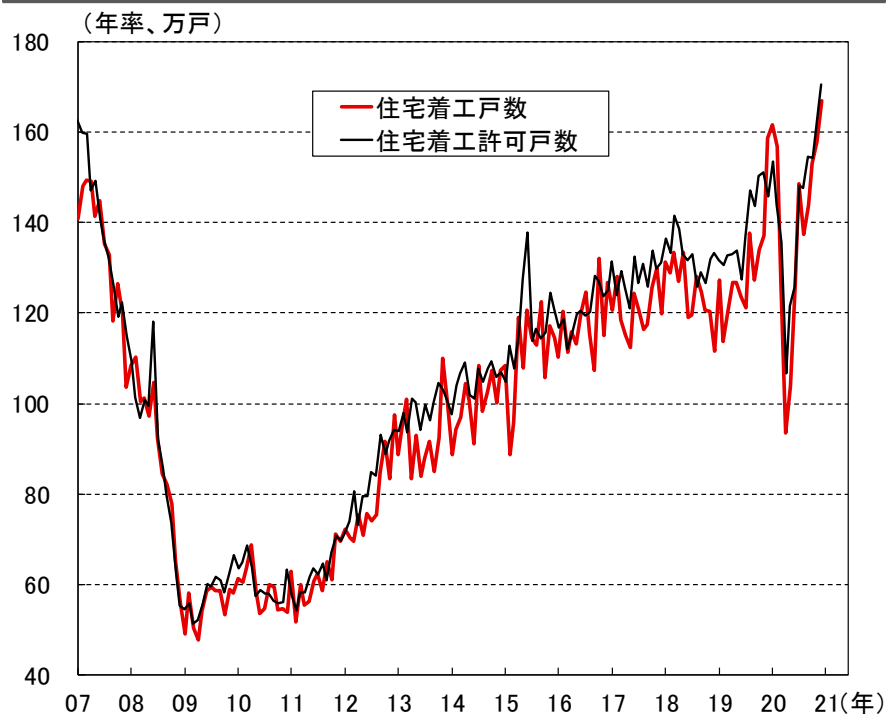


(資料) カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 6. 住宅

- 昨年12月の住宅着工戸数は前月比+5.8%増加して年率166.9万戸(季節調整済)と、同11月(同+3.1%)から増加ペースが加速。変動の大きい集合住宅(2世帯以上)は同▲13.6%減少した一方、一戸建住宅は同+12.0%増加。着工戸数の先行指標である住宅着工許可戸数は同+4.2%の年率170.4万戸と2ヵ月連続で増加(同11月:同+5.9%)。
- 住宅販売について、全体の9割程度を占める中古住宅販売戸数は昨年12月に前月比+0.7%増加して年率676.0万戸(季節調整済)。増加は2ヵ月ぶり。在庫率は2.2ヵ月(季節調整済)と同11月(2.3ヵ月)から更に低下。販売価格(中央値)は309,800ドル(季節調整前)と前年比+12.9%上昇し、同11月(同+14.6%)から上昇ペースが減速。
- 新築住宅販売戸数は昨年12月に前月比+1.6%増加して年率84.2万戸(季節調整済)となり、5ヵ月ぶりに増加(同11月:同▲12.6%)。在庫率は4.3ヵ月(季節調整済)と2ヵ月連続で上昇(同11月:4.2ヵ月)。販売価格(中央値)は355,900ドル(季節調整前)と前年比+8.0%上昇し、同11月(同+4.8%)から上昇ペースが加速。

住宅着工戸数と住宅着工許可戸数の推移



(資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売戸数の推移



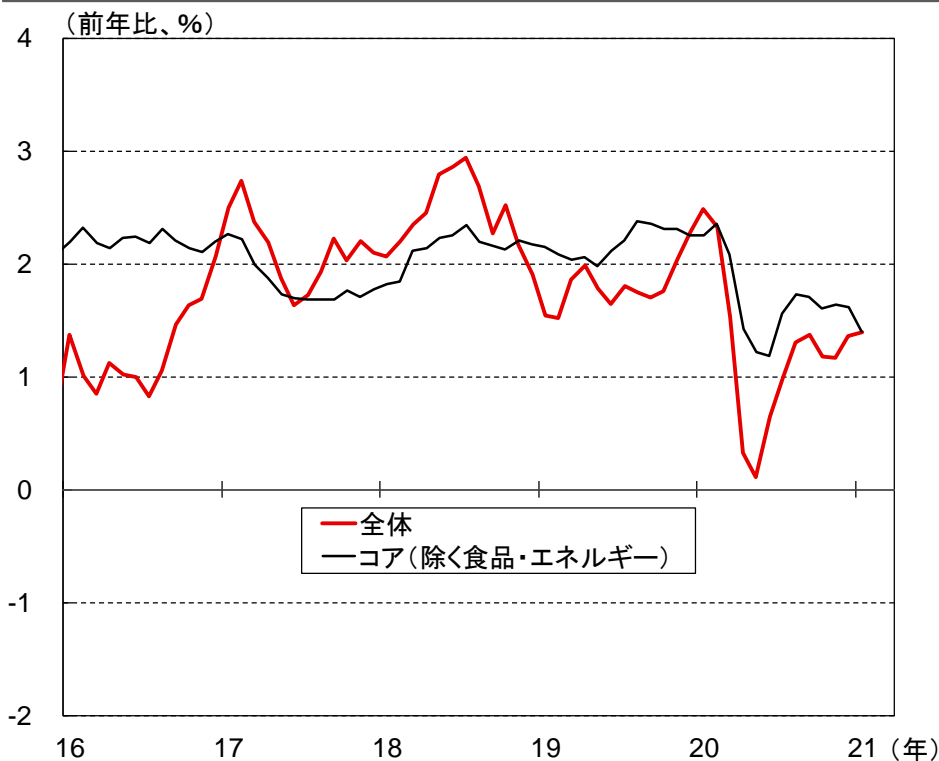
(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成



## 7. 物価

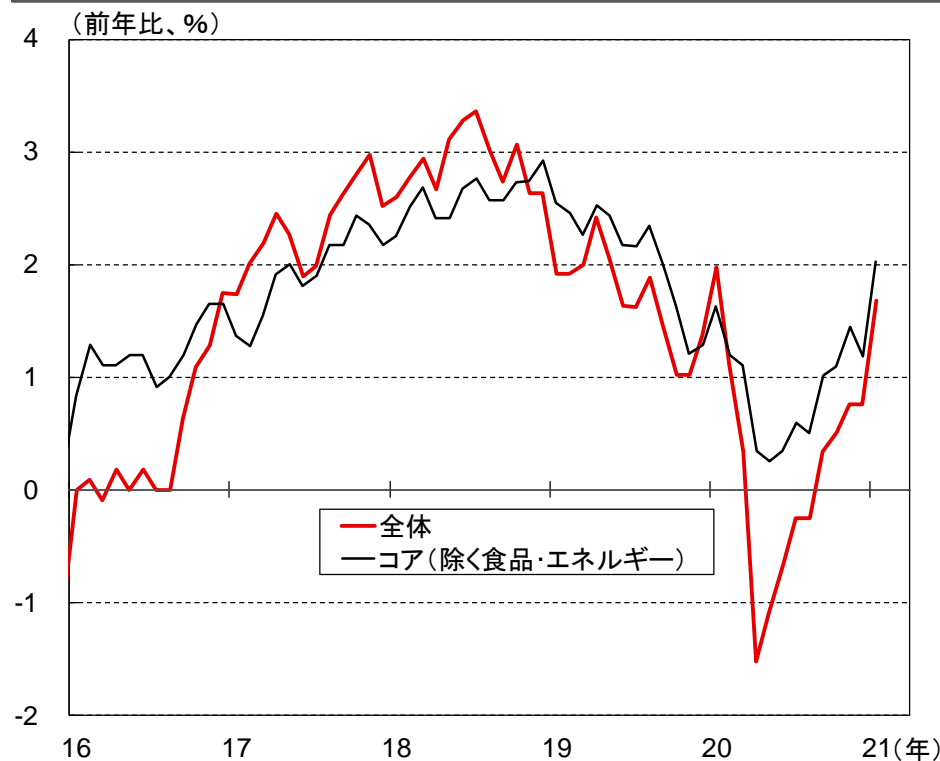
- 1月の消費者物価指数は前月比+0.3%となり、昨年12月(同+0.2%)から上昇ペースがやや加速。前年比では+1.4%となり同12月と同率。前年比の内訳をみると「食品」(同+3.8%)は上昇した一方、「エネルギー」(同▲3.6%)は低下。「食品」と「エネルギー」を除いたコア消費者物価指数は前月比では横這い(同12月も横這い)、前年比では+1.4%上昇(同12月:同+1.6%)。
- 1月の生産者物価指数は前月比+1.3%と、前月比ベースでは現行統計が開始された2009年12月以来の高い伸び率を記録(昨年12月:同+0.3%)。前年比では+1.7%となり同1月(同+2.0%)以来の高い伸びに。前年比の内訳をみると、「財」は同+1.3%、「サービス」は同+2.0%と夫々上昇。「食品」と「エネルギー」を除いたコア生産者物価指数は、前月比では+1.2%(同12月:同+0.1%)、前年比では+2.0%上昇(同12月:同+1.2%)。

消費者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

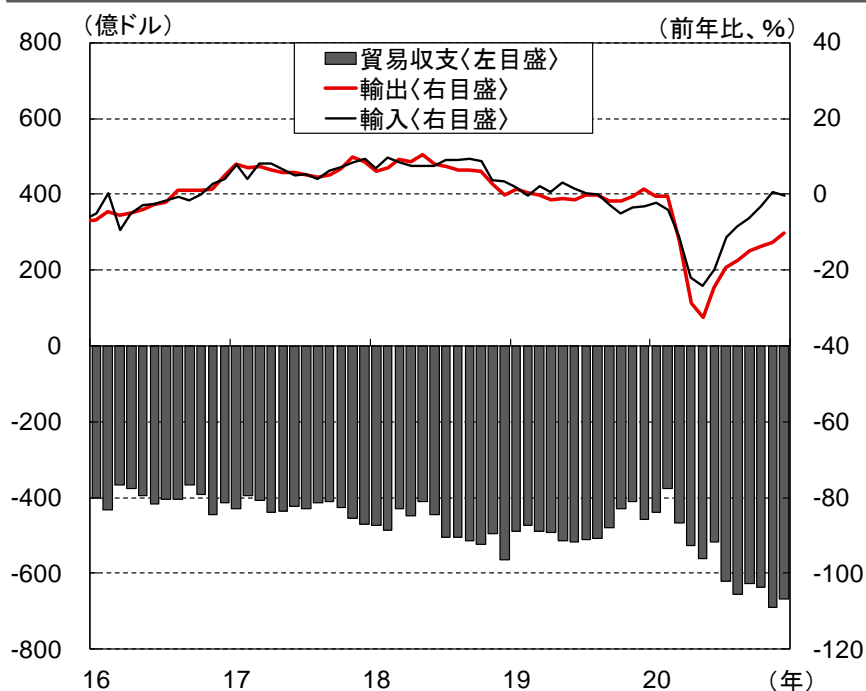


## 8. 国際収支

- 昨年12月の貿易収支(財・サービス)は666億ドルの赤字となり、赤字幅が前月比▲3.5%縮小。財収支は842億ドルの赤字となり、赤字幅が同▲3.3%縮小、サービス収支は175億ドルの黒字となり、黒字幅が同▲2.5%縮小。輸出は同+3.4%、輸入は同+1.5%夫々増加。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の4割程度を占める中国との貿易赤字は12月に281億ドルとなり、赤字幅が前月比▲7.6%(同▲23億ドル)縮小。
- 2020年通年の貿易収支(財・サービス)は6,787億ドルの赤字となり、赤字幅が前年比+17.7%拡大。財収支は9,158億ドルの赤字となり、赤字幅が同+6.0%拡大、サービス収支は2,371億ドルの黒字となり、黒字幅が同▲17.5%縮小。輸出は同▲15.7%と過去最大の減少率となり、輸入は同▲9.5%と2009年以来の減少率。

(注)貿易収支は国際収支ベース。但し、国・地域別内訳は通関ベース。

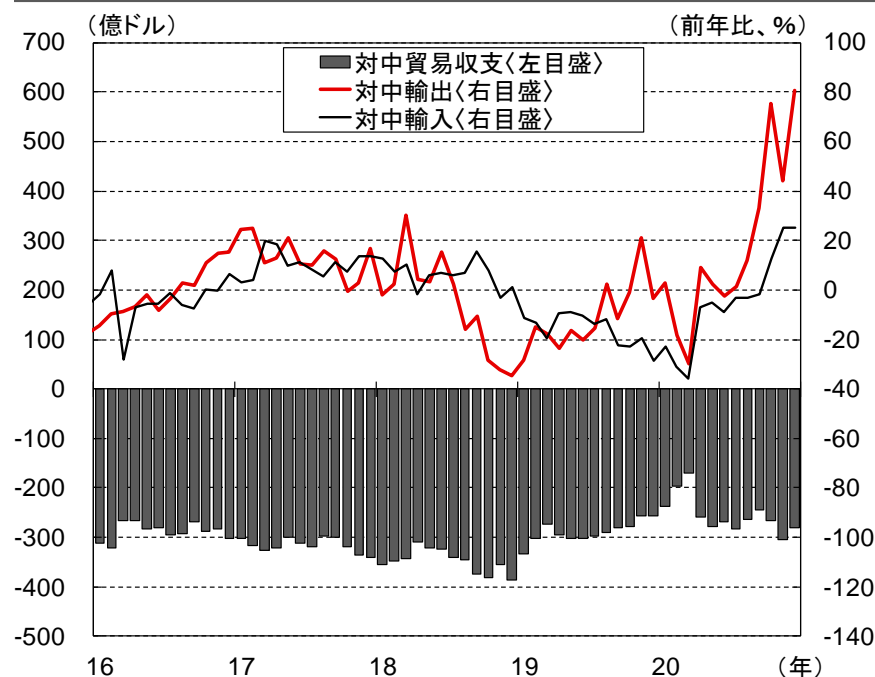
貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。

(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。

(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 9. 金融市場動向

- ダウ平均株価は、個人投資家による取引で株式市場の一部銘柄が乱高下したこと(所謂「ロビンフッド・ショック」)などを受けて1月末にかけて下落する展開に。その後は、そうした銘柄の値動きが徐々に落ち着いたことや追加経済対策への期待から上昇基調に戻り、足元は過去最高値圏。
- 10年物国債利回りは、議会が検討している追加経済対策が景気回復やインフレ加速に繋がるとの見方から上昇傾向で推移し、足元は1.3%程度と略1年ぶりの高水準。バイデン政権と民主党は1.9兆ドル規模の追加経済対策を提案しているが、2月5日には財政調整措置を成立させ、当該法案の上院での可決に必要な票数を60票から過半数へ引き下げ。共和党議員の賛成票が必要なくなり、実現可能性が高まる。

ダウ平均株価の推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

10年物国債利回りの推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	41.7	43.1	52.2	53.7	55.6	55.7	58.8	57.7	60.5	58.7	-
	ISMサービス業指数	41.6	45.4	56.5	56.6	57.2	57.2	56.2	56.8	57.7	58.7	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	91.3	92.1	97.8	101.9	102.9	102.8	103.9	104.9	106.2	107.2	-
	前月比(%)	▲12.7	0.9	6.2	4.2	1.0	▲0.1	1.1	0.9	1.3	0.9	-
	設備稼働率(%)	64.2	64.8	68.9	71.8	72.5	72.4	73.3	73.9	74.9	75.6	-
	製造業受注(億ドル)	3,823	4,117	4,382	4,669	4,698	4,759	4,822	4,883	4,935	-	-
	前月比(%)	▲13.5	7.7	6.4	6.5	0.6	1.3	1.3	1.3	1.1	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	1,675	1,926	2,075	2,319	2,329	2,378	2,421	2,452	2,464	-	-
前月比(%)	▲18.3	15.0	7.7	11.8	0.4	2.1	1.8	1.3	0.5	-	-	
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	▲2,067.9	283.3	484.6	172.6	158.3	71.6	68.0	26.4	▲22.7	4.9	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	30.07	29.74	29.35	29.37	29.47	29.50	29.52	29.61	29.90	29.96	-
	前年比(%)	8.2	6.7	5.0	4.7	4.7	4.8	4.5	4.5	5.4	5.4	-
	失業率(%)	14.8	13.3	11.1	10.2	8.4	7.8	6.9	6.7	6.7	6.3	-
	個人所得(年率、億ドル)	210,931	202,461	200,327	202,133	196,917	198,425	197,079	194,519	195,685	-	-
	前月比(%)	12.4	▲4.0	▲1.1	0.9	▲2.6	0.8	▲0.7	▲1.3	0.6	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	121,121	131,654	140,146	142,247	143,972	145,827	146,206	145,216	144,937	-	-
	前月比(%)	▲12.7	8.7	6.5	1.5	1.2	1.3	0.3	▲0.7	▲0.2	-	-
	貯蓄率(%)	33.7	24.7	19.0	18.5	15.0	14.4	13.6	12.9	13.7	-	-
	小売売上高(億ドル)	4,128	4,882	5,300	5,359	5,434	5,528	5,522	5,452	5,397	5,682	-
	前月比(%)	▲14.7	18.3	8.6	1.1	1.4	1.7	▲0.1	▲1.3	▲1.0	5.3	-
	自動車販売台数(年率、万台)	872	1,211	1,302	1,463	1,511	1,630	1,637	1,571	1,623	1,663	-
前月比(%)	▲23.2	38.9	7.5	12.3	3.3	7.9	0.4	▲4.0	3.3	2.5	-	
消費者信頼感指数	85.7	85.9	98.3	91.7	86.3	101.3	101.4	92.9	87.1	89.3	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	71.8	72.3	78.1	72.5	74.1	80.4	81.8	76.9	80.7	79.0	76.2	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移												
		20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	93	104	127	149	137	144	153	158	167	-	-
	前月比(%)	▲26.4	11.1	21.9	17.5	▲7.7	4.7	6.5	3.1	5.8	-	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	433	391	470	586	598	657	686	671	676	-	-
	前月比(%)	▲17.8	▲9.7	20.2	24.7	2.0	9.9	4.4	▲2.2	0.7	-	-
物価	消費者物価指数(1982~84年=100)	256.4	256.4	257.8	259.1	259.9	260.3	260.4	260.2	260.5	261.6	-
	前月比(%)	▲0.7	▲0.1	0.5	0.5	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	-
	前年比(%)	0.3	0.1	0.6	1.0	1.3	1.4	1.2	1.2	1.4	1.4	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	116.7	117.3	117.7	118.4	118.5	118.7	119.4	119.2	119.3	121.0	-
国際収支	輸出(財、億ドル)	955	898	1,028	1,153	1,187	1,224	1,262	1,275	1,335	-	-
	輸入(財、億ドル)	1,678	1,665	1,753	1,968	2,033	2,039	2,082	2,145	2,177	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲723	▲767	▲724	▲815	▲845	▲814	▲820	▲870	▲842	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲525	▲562	▲519	▲621	▲656	▲627	▲638	▲690	▲666	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料)各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当部はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)  
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : [cokada-wighe@us.mufg.jp](mailto:cokada-wighe@us.mufg.jp)